

2025年5月

5月11日(日)、札幌パークホテルにて「北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション2025」が開催されました。当院のブースには昨年の43名を超える50名の医学生が足を運んでくださり、大変盛況となりました。これは、谷口研修医をはじめとする巧みな勧誘、そして副院長自ら医学生に釧路の魅力を手紙でPRしていただいた結果が、数字として表れたものと感じております。さらに、今回から研修医の士気向上を目的としてスクラブを新調し、その効果も一定程度あったのではないかと考えます。研修の2年間で充実したものにすするため、病院全体で取り組んでいきますので、興味のある学生さんは、病院見学やWebミーティングにぜひご参加ください。

5月22日(木)、第2回目の総合講座が開催され、宮城島副院長による「院内感染対策の基礎と現状」に関する講義が行われました。講義では、針刺し事故防止と廃棄措置について触れられました。使用済みの針などの鋭利な医療器具については、リキャップを避け、専用容器に集約して廃棄することが重要であると強調されました。また、自身が使用した器具の整理と管理の大切さに加え、水場のふき取りと乾燥を促進することで薬剤耐性緑膿菌などの定着防止に寄与することが説明されました。この機会に、トイレ使用後など気付いた際にはペーパータオル等で水場をふき取ることを実践し、院内感染のリスクを軽減する習慣を身に付けていただければと思います。研修医に限らず、職員一人ひとりの行動が院内感染対策につながることを改めて認識させられる講義となりました。

当院ブース 今年度も会場入って目の前でした

ミーティング風景(作戦会議?)



1年次の研修医も説明するほど盛況でした



現在、内科研修受講中の釧路赤十字病院研修医も参加していただきました

